

平成24年7月3日からの大雨による被害状況等について

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成24年7月10日
20時00分現在
内閣府

1. 気象の概況（気象庁情報：7月10日14:00現在）

（1）概況

- ・7月2日（月）から7日（土）にかけて梅雨前線が本州付近に停滞し、この前線に向かって断続的に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本の広い範囲で大雨となった。
- ・梅雨前線は8日（日）から9日（月）にかけて日本の南海上まで南下したが、10日（火）は西からゆっくり北上しており、九州南部地方や沖縄地方では激しい雨の降っているところがある。

（2）大雨の状況（7月2日0時～7月9日14時まで）

・主な一時間降水量

大分県	耶馬溪	91.0	ミリ	3日	06時45分まで
福岡県	英彦山	86.5	ミリ	3日	06時14分まで
大分県	日田	80.5	ミリ	3日	08時03分まで
島根県	佐田	74.0	ミリ	6日	22時09分まで
山口県	鹿野	73.0	ミリ	6日	19時19分まで

・主な24時間降水量

大分県	耶馬溪	251.0	ミリ	3日	23時10分まで
大分県	院内	194.0	ミリ	4日	05時50分まで
宮崎県	えびの	189.0	ミリ	2日	17時50分まで
福岡県	英彦山	178.5	ミリ	3日	23時10分まで
熊本県	湯前横谷	178.0	ミリ	2日	12時20分まで

・主な期間総雨量

大分県	耶馬溪	361.0	ミリ
宮崎県	えびの	326.0	ミリ
新潟県	室谷	321.5	ミリ
富山県	宇奈月	267.0	ミリ
福岡県	英彦山	261.0	ミリ

（3）今後の見通し

- ・梅雨前線は11日（水）には西日本まで北上し、その後しばらく日本付近に停滞する見込み。前線に向かって湿った空気が入るため、11日（水）は四国地方や九州地方を中心に、12日（木）は西日本から北日本の広い範囲でまとまった雨が降り、局地的に雷を伴い激しく降るおそれがある。

2. 人的・住家被害の状況（消防庁調べ：7月10日16:00現在）

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
福岡県	1			1		1	4	30	242	22	9
大分県		1	1	1	6	15	54	推定 2,800※		4	10
合計	1	1	1	2	6	16	58	30	242	26	19

※推定 2,800 のうち、10 日までの調査済み数は床上浸水 719、床下浸水 651
 ※大分県日田市においては、240 世帯以上の世帯で床上浸水が発生し、被災者生活再建支援法が適用されている

3. 避難の状況

(1) 避難指示 (消防庁調べ : 7月10日16:00現在)

都道府県名	市町村名	対象世帯数	対象人数	指示日時	解除日時
大分県	日田市	8,006	21,925	7月3日 9:50	7月3日 20:10
小計		8,006	21,925		
合計		8,006	21,925		

(2) 避難勧告 (消防庁調べ : 7月10日16:00現在)

【現在】福岡県久留米市 48世帯、154人

都道府県名	市町村名	対象世帯数	対象人数	勧告日時	解除日時
福岡県	久留米市	48	154	7月3日 21:00	継続中
	朝倉市	2,828	7,634	7月4日 10:50	7月7日 9:00
小計		2,876	7,788		
大分県	中津市	46	118	7月3日 7:50	7月3日 19:30
		1,858	4,540	7月3日 9:25	7月3日 22:15
	日田市	171	376	7月3日 10:30	7月3日 17:40
		5,999	16,816	7月3日 20:10	7月4日 7:30
		5,999	16,816	7月4日 9:00	7月4日 18:30
		28	64	7月4日 18:30	7月5日 9:30
	由布市	92	205	7月3日 9:20	7月4日 15:30
	玖珠町	6,811	17,488	7月3日 9:50	7月3日 16:30
		179	518	7月3日 16:30	7月3日 19:10
	小計		21,183	56,941	
合計		24,059	64,729		

(3) 避難者数 (内閣府調べ : 7月10日18:00現在)

・福岡県朝倉市 5人

4. その他被害の状況

(1) 土砂災害 (国土交通省調べ : 7月10日15:00現在)

・土石流等 8県 19件

新潟県 1件 (十日町)
 岐阜県 1件 (揖斐川町)
 島根県 3件 (出雲市)
 山口県 1件 (岩国市)
 福岡県 1件 (久留米市)

熊本県 2件（球磨村1、山江村1）
 大分県 7件（由布市2、別府市2、中津市2、日田市1）
 ※由布市1、別府市1は7月1日に発生
 鹿児島県 3件（鹿児島市）

・地すべり 2県3件

山形県 2件（上山市）
 福島県 1件（二本松市）

・がけ崩れ 11県34件

秋田県 1件（横手市）
 富山県 1件（高岡市）
 静岡県 1件（牧之原市）
 三重県 1件（紀北町）
 島根県 4件（太田市3、川本町1）
 広島県 8件（東広島市2、福山市1、府中市1、呉市1、世羅町3）
 山口県 5件（山陽小野田市1、周南市3、下関市1）
 愛媛県 5件（宇和島市2、八幡浜市2、西予市1）※宇和島市1は7月1日に発生
 福岡県 1件（朝倉市）
 大分県 6件（宇佐市1、日田市1、杵築市1、玖珠町3）
 鹿児島県 1件（徳之島町）

(2) 河川（国土交通省調べ：7月10日15:00現在）

○国管理河川の出水状況

・現在、計画高水位を超えている河川	なし
・現在、はん濫危険水位を超えている河川	なし
・現在、避難判断水位を超えている河川	なし
・現在、はん濫注意水位を超えている河川	なし
・計画高水位を超えたが、現在下回っている河川	1水系1河川
・はん濫危険水位を超えたが現在下回った河川	1水系3河川
・避難判断水位を超えたが現在下回った河川	3水系3河川
・はん濫注意水位を超えたが現在下回った河川	8水系13河川

○河川の状況

・河川管理施設等被害：筑後川水系花月川で破堤2箇所
 山国川水系山国川など4水系7河川で護岸崩壊等51箇所

(3) ライフライン

○電力（経済産業省調べ：7月10日16:00現在）

・現在の停電戸数：解消済み
 ・主な停電地域：大分県中津市
 ・延べ停電戸数：約5,500戸
 ・主な設備被害：配電設備
 （電柱倒壊2本、電柱折損1本、電柱転倒1本、電線線断線4箇所 他調査中）
 ・最大停電戸数：約700戸

○都市ガス（経済産業省調べ：7月10日16:00現在）

- ・被害情報なし。引き続き調査中

○水道（厚生労働省調べ：7月10日15:00現在）

（1）被害状況

- ・大分県日田市及び中津市で断水が発生
 日田市では 504 世帯が断水（全て復旧済み）
 中津市では 185 世帯が断水（全て復旧済み）
- ・福岡県朝倉市の 3 世帯で 7 月 6 日に断水が発生（全て復旧済み）

（2）応急給水

- ・大分県における断水地区については、給水車及び給水タンク（日田市、中津市それぞれで対応）により応急給水を実施（終了）
- ・朝倉市における断水については、飲料水についてはボトルウォーター、生活用水は自家用井戸にて対応（終了）

○通信関係の状況（総務省調べ：7月6日16:00現在）

- ・復旧済み

○放送関係の状況（総務省調べ：7月6日16:00現在）

【地上波】

- ・復旧済み

【ケーブルテレビ】

- ・復旧済み

（4）道路（国土交通省調べ：7月10日15:00現在）

- ・高速道路の通行止め状況
 現在、通行止め路線なし（7月3日からの延べ通行止め10路線）

路線名	区間名	被災状況	備考
大分道	上り：朝倉 IC～日田 IC 下り：朝倉 IC～天瀬 たかつか 高塚 IC	土砂崩れ 雨	7月3日 8:19～ 土砂崩れによる通行止め （上り：杷木 IC～朝倉 IC） 8:35～ 土砂崩れによる通行止め （下り：杷木 IC～朝倉 IC） 9:05～ 土砂崩れによる通行止め （下り：日田 IC～天瀬高塚 IC） 9:48～ 事前通行規制 （杷木 IC～日田 IC） 7月4日 17:10～ 事前通行規制解除 （天瀬高塚 IC～日田 IC） 19:00～ 事前通行規制解除 （朝倉 IC～日田 IC） ※杷木 IC（上り）出口 通行止め継続中 →7月10日 0:10 杷木 IC（上り）出口 の通行止め解除

- ・直轄国道の通行止め状況：現在、通行止め区間無し（7月3日からの延べ通行止め6区間）
- ・都道府県管理国道の通行止め状況：現在、5区間通行止め（7月3日からの延べ通行止め22区間）

路線名	区間名	被災状況	備考
国道211号	福岡県東峰村塔の元 <small>とうほうむら</small>	法面崩落等	7月3日 10:00～ 全面通行止め 人身・物損：無し、迂回路あり
国道322号	福岡県朝倉市秋月野鳥 <small>あきづきのとり</small>	法面崩落等	7月3日 8:20～ 全面通行止め 人身・物損：無し、迂回路あり
国道388号	宮崎県門川町大字川内 <small>かどがわちよう</small>	法面崩落等	7月3日 2:00～ 全面通行止め 人身・物損：無し、迂回路あり
国道500号	福岡県東峰村小石原 <small>こいしわら</small>	法面崩落等	7月4日 8:10～ 全面通行止め 人身・物損：無し、迂回路あり
国道310号	奈良県五條市中之町	崩土	7月7日 8:00～ 全面通行止め 人身・物損：無し、迂回路あり
国道169号	和歌山県新宮市熊野川町玉置口 <small>たまきぐち</small>	崩土	7月9日 21:00～ 全面通行止め 人身・物損：無し、迂回路あり →7月10日 10:45 全面通行止め解除

- ・都道府県道の通行止め状況：
現在、67区間で通行止め（富山県1、愛知県1、大阪府1、兵庫県1、島根県5、岡山県17、広島県3、徳島県1、愛媛県1、福岡県3、熊本県1、大分県26、宮崎県1、静岡市1、浜松市1、岡山市3）

（5）交通機関

○鉄道（国土交通省調べ：7月10日15:00現在）

・鉄道の運転中止区間 2事業者2路線

事業者名	線名	運転休止区間	運転休止		運転再開		主な被害状況等
			日	時刻	日	時刻	
JR東日本	磐越西線	猪苗代駅～会津若松駅間	6	13:00	7	6:00	線路下法面崩壊 (更科信号場～磐梯町駅間)
JR西日本	阪和線	天王寺駅～日根野駅間	7	11:16	7	16:55	道床流出 (上野芝駅～津久野駅間)
	赤穂線	相生駅～播州赤穂駅間	7	5:34	7	10:55	線路冠水 <small>にしあいおい</small> (西相生駅～坂越駅間)

	芸備線	東城駅～ 備後落合駅間	7	始発			土砂流入 (内名駅 <small>おぬか</small> ～小奴可駅間、道後山駅～備後落合駅間)
	木次線	木次駅～ 備後落合駅間	7	始発	8	始発	土砂流入 (出雲坂根駅 <small>ひのぼり</small> ～日登駅間)
	津山線	建部駅～ 金川駅間	7	始発	9	始発	倒木(建部駅～金川駅間)
	山陽線	松永駅～ 糸崎駅間	6	21:04	6	23:02	コンクリート壁崩壊 (東尾道駅～尾道駅間)
	伯備線	総社駅～ 備中高梁駅間	6	12:01	6	15:38	倒木(美袋駅 <small>みなぎ</small> ～備中広瀬駅間)
JR九州	日田彦山線	豊前榊田駅～ 夜明駅間	3	5:31	4	0:30	道床流出 (宝珠山駅 <small>ほうしゅやま</small> ～大鶴駅間) 土砂流入・倒木 (今山駅 <small>よあけ</small> ～夜明駅間)
	久大線	筑後草野駅～ うきは駅間	3	7:10	3	17:20	道床流出・築堤崩壊 (田主丸駅 <small>たぬしまる</small> ～筑後吉井駅間)
		うきは駅～ 湯布院駅間	3	7:10	4	0:42	道床流出・線路冠水 (筑後大石駅～夜明駅間) 築堤崩壊(夜明駅 <small>てるおか</small> ～光岡駅間)
富山地方 鉄道	立山線	本宮駅～ 立山駅間	7	18:00			土砂流入(本宮駅～立山駅間)

(6) 文教施設等 (文部科学省調べ：7月10日15:00現在)

区分	被災箇所数
国立学校施設	2
公立学校施設	15
私立学校施設	
社会教育・体育、文化施設等	1
文化財等	10
研究施設等	
計	28

※主な被害状況：建物内浸水、困障倒壊 等

(7) 農林水産関係 (農林水産省調べ：7月10日12:00現在)

区分	主な被害	被害数	被害額 (百万円)	被害地域
農地・農業用施設関係	農地の損壊	226箇所	調査中	山口県、福岡県、大分県
	農業用施設の損壊	137箇所	調査中	山口県、福岡県、大分県
林野関係	林地荒廃	12箇所	調査中	福岡県、長崎県、熊本県、大分県
	治山施設	2箇所	調査中	熊本県、大分県

	林道施設等 森林被害	22箇所 調査中	調査中 調査中	大分県
水産関係	漁港施設	3漁港	調査中	大分県
	共同利用施設	1件	調査中	大分県
農作物等	農作物の冠水	116ha	調査中	福岡県、大分県
	家畜（牛）の流 失	5頭	調査中	大分県
	パイプハウス等 の損壊	4箇所	調査中	大分県
	牛舎等の損壊	13箇所	調査中	大分県

注：被害については、現時点で判明しているものを記載しており、引き続き調査中。

(8) 病院等関係（厚生労働省調べ：7月10日15：00現在）

- ・大分県で歯科診療所3カ所が被災（床上浸水2件、床下浸水1件）
被災施設のうち、2件は診療再開

(9) 社会福祉施設関係（厚生労働省調べ：7月10日15：00現在）

- ・大分県で10カ所（床上浸水7件（うち3件避難）、床下浸水1件（うち1件避難）が被災。人的被害なし。
- ・福岡県で1カ所（浸水等）が被災。人的被害なし

(10) その他

- ・公園施設 1箇所で被害が発生（国土交通省調べ：7月10日15:00現在）

5. 政府の主な対応

(1) 政府現地調査

- ・後藤内閣府副大臣が大雨による被害状況及び現地の対応状況等を把握するため、関係省庁とともに現地調査を実施(7月6日)
- ・横光環境副大臣が災害廃棄物の観点で被害状況及び現地の対応状況等を把握するため、福岡県朝倉市、大分県日田市・中津市を現地視察(7月7日)

(2) 災害救助法の適用

- ・大分県は、日田市、中津市に災害救助法を適用（適用決定日：日田市7月3日、中津市7月4日、適用日：7月3日）
- ・福岡県は、朝倉市に災害救助法を適用（適用決定日：7月5日、適用日：7月3日）

(3) 被災者生活再建支援法の適用

- ・大分県は、日田市に被災者生活再建支援法を適用（適用決定日：7月5日、適用日：7月3日）

(4) 各府省庁の対応

①内閣府の対応

- ・今後の気象状況の見通し及び被害状況等に係る情報共有を図るとともに、今後の対応を確認するため、関係省庁による会議を実施した。（7月4日19時00分）

②警察庁の対応

- ・大分県中津市耶馬溪町における行方不明者事案に対し、大分県警察では、140人体制で捜索を実施（7月4日～6日）。7日以降、中津署員が通常勤務に併せ捜索を実施中。

③金融庁の対応

- ・災害救助法の適用決定を受け、大分県内の関係金融機関等に対し、日本銀行と財務省九州財務局の連名で「7月3日からの大雨による大分県内における災害に対する金融上の措置について」を発出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講ずるよう要請(7月3日)
- ・災害救助法の適用決定を受け、福岡県内の関係金融機関等に対し、日本銀行と財務省福岡財務支局の連名で「7月3日からの大雨による福岡県内における災害に対する金融上の措置について」を発出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講ずるよう要請(7月6日)

④総務省の対応

- ・災害救助法の適用を受けた大分県日田市、中津市並びに福岡県朝倉市を告知先とする無線局免許人に対し、電波利用料債権の催促状及び督促状の送付を停止する措置を実施(7月3日)
- ・鳥取県から衛星携帯電話の貸出要請があり、8台を貸出(7月5日)

⑤財務省の対応

- ・災害救助法の適用を踏まえ、大分県及び福岡県の被災中小企業者対策として、日本政策金融公庫等における特別相談窓口の設置、災害貸付の適用等の措置を実施(大分県:7月4日、福岡県:7月6日)
- ・平成24年7月3日からの大雨による災害を危機認定し、日本政策金融公庫から指定金融機関(日本政策投資銀行、商工組合中央金庫)を通じた危機対応融資の対象に追加(7月4日)
- ・日本政策金融公庫(農林水産事業)及び農林漁業信用基金に対し、窓口における親身な対応、資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等についての配慮を要請(7月5日)
- ・日田市に対し、九州財務局から利用可能な国有財産(普通財産)のリストを情報提供(7月4日)
- ・大分県、中津市、宇佐市に対し、九州財務局から利用可能な国有財産(普通財産)のリストを情報提供(7月5日)

⑥文部科学省の対応

- ・中国・九州地方の都道府県教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請(7月2日15時32分)
- ・全国の都道府県教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請(7月6日11時30分)

⑦経済産業省の対応

- ・大分県及び福岡県における災害救助法の適用を踏まえ、被災中小企業者対策として、特別相談窓口の設置、災害復旧貸付の適用、既往債務の返済条件緩和等、小規模企業共済災害時即時貸付の適用の措置を講じた(7月4日15時30分(大分県)、7月6日11時00分(福岡県を対象地域に追加))
- ・職員を大分県及び福岡県の被災地に派遣し、被災状況を調査するとともに、被災自治体関係者及び地元商工関係者等に対し国の対応状況(特別相談窓口の設置等)等を説明。(7月4日、6日、8日、9日)

⑧厚生労働省の対応

- ・避難所の生活環境の整備等について、十分な配慮を行うよう大分県及び福岡県に通知(7月3日)
 - ・市町村の判断により、利用者負担額・介護保険料の減免等を行うことができること等について、関係自治体に通知(大分県:7月4日、福岡県:7月6日)
- [各種保険制度の対応]
- a. 医療保険
- ・被用者保険においては、保険者の判断により、一部負担金の減免等及び保険料の納期限の延長ができること等について、健康保険組合等に通知(7月4日)
 - ・国民健康保険においては、保険者の判断により、国民健康保険料(税)の徴収猶予、納期限の延長及び減免並びに一部負担金の徴収猶予又は減免を行うことができること等について、関

係自治体に通知（大分県：7月4日、福岡県：7月6日）

・後期高齢者医療制度においては、保険者の判断により、一部負担金の減免及び徴収猶予並びに保険料の減免、徴収猶予並びに納期限の延長を行うことができること等について、大分県及び福岡県等の関係団体等に通知。各都道府県及び各都道府県後期高齢者医療広域連合にも情報提供（大分県：7月4日、福岡県：7月6日）

b. 介護保険

・市町村の判断により、利用者負担額・介護保険料の減免等を行うことができること等について、関係自治体に通知（大分県：7月4日、福岡県：7月6日）

⑨農林水産省の対応

・被害農林漁業者等に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等について関係金融機関に通知を发出（7月5日）

・農業共済の迅速かつ適切な損害評価の実施及び早期支払体制の確立について共済組合連合会等に通知を发出（7月5日）

・九州森林管理局がヘリコプターによる現地調査を大分県と連携して実施（7月5日）

・被災状況の把握と今後の対応の検討のため、九州農政局担当官を大分県に派遣（7月6日）

⑩国土交通省の対応

・国土交通本省警戒体制（平成23年9月4日13：20より継続）

・九州地方整備局からリエゾンとして2県4市2町（福岡県庁、大分県庁、福岡県久留米市、朝倉市、大分県中津市、日田市、福岡県上毛町）に派遣（のべ74人・日（7月3日～9日））し、被害情報の収集や自治体からの要望に対する調整等に従事

・筑後川水系花月川（国土交通省管理区間）および有田川（花月川支川）、熊ノ尾川（有田川支川）（県管理区間）で発生した堤防決壊等の被害に対し、河川堤防等の被害状況の調査、復旧方針等の技術的な支援、助言のため、大分県日田市へ水管理・国土保全局、国土技術政策総合研究所、九州地方整備局、土木研究所より緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）9名を派遣（7月4日）

・九州地方整備局災害対策用ヘリコプター（はるかぜ）による現地調査を実施（7月3、4、5、9日）

・7月1日に大分県由布市湯布院町岳本川で発生した土石流災害に対し、警戒避難態勢及び今後の対応についての技術指導を行うため、大分県の要請に基づき、国土技術政策総合研究所、土木研究所より2名を現地に派遣（7月5日～6日）

・7月3日に福岡県久留米市田主丸町地徳で発生した斜面崩壊に対し、警戒避難態勢及び今後の対応についての技術指導を行うため、福岡県の要請に基づき、土木研究所より1名を現地に派遣（7月5日）

⑪環境省の対応

・大分県及び福岡県に対し、災害等廃棄物の発生と廃棄物処理施設の被災状況を適宜把握し報告するよう依頼（大分県：7月5日、福岡県7月6日）。10日現在、両県とも廃棄物処理施設への被害は特になし。